

県指定天然記念物「家康手植のミカン」について

「家康手植のミカン」は、「ほんみかん」（紀州みかん）と呼ばれ、鎌倉時代に中国から伝えられたみかんの一種です。品種改良をしていないため、香りが強く、種のある小型の蜜柑で、同じ品種は一般に流通していません。種が多いという特徴があります。

静岡地方のみかんの起源を知る上で貴重であるとして、昭和25年3月14日に静岡県指定天然記念物として指定されました。

いい伝えによると、大御所徳川家康公が、駿府御座城の折、紀州（現在の和歌山県、当時の藩主は浅野氏）から献上された鉢植えみかんを、駿府城の天守台辺りに自ら植えたものと言われています。



□ミカンの特徴

- ・「家康手植のミカン」の1個当たりの重量は約50gです。たとえば、20kgでは約400個、30kgでは約600個です。
- ・一般のミカンは20kgで約300個であるため、「家康手植のミカン」は一般のミカンより小ぶりの品種です。

□ミカン植栽位置図

- ・静岡市葵区駿府城公園1-1

駿府城公園内で一般の人の立ち入りが制限された柵の中で育てられています。管理は静岡市文化財課が行っています。

